

「火山活動解説資料」は、従来の定期火山情報に代わり、常時観測火山について毎月の活動状況を取りまとめたものです。北海道の火山活動解説資料は札幌火山監視・情報センターが作成し、翌月の5日すぎに公表します。また、機動観測等で資料が得られた場合には常時観測以外の火山についても掲載します。

次回、4月の火山活動解説資料は5月9日10時に公表します。

### 火山用語の解説

---

- 噴火：火口から火山灰等の固形物や溶岩を火口付近の外へ放出する現象。
- 爆発：噴火の一形式で爆発的噴火の略。地下の高温、高圧源での内圧が増大して起こり、音響とともにガス、水蒸気、岩石等を放出し、空振を伴う現象。時に火口や山体を破壊することもある。
- 空振：噴火等により火口から物質が放出される際に発生した衝撃波などが、空气中を伝わり観測される音波。爆発的な噴火では大きな空振が観測される。
- 噴煙：火口から上昇する火山ガスや水蒸気が雲状になったもの。通常は白色だが、噴火時には、火山灰等を含むため灰色や黒灰色に見える。
- 火山灰：火山噴火時に放出される細粒の噴出物。粒子の直径約2mm未満のもの。
- 降灰：火山灰、火山砂、火山礫が降下する現象。
- 火山性地震：火山体または火山付近を震源とする地震。解説資料本文中の地震とは、主に火山性地震をさす。
- 火山性微動：マグマや熱水の移動等に関連して発生する地面の連続した震動。火山灰の噴出活動に連動して発生することもある。
- 火山ガス：火山から発生する気体で、通常大部分（95%以上）は水蒸気。二酸化炭素（ $\text{CO}_2$ 、無臭）のほか、硫化水素（ $\text{H}_2\text{S}$ 、異臭を伴う）や亜硫酸ガス（ $\text{SO}_2$ 、刺激臭を伴う）など有害な物質が含まれることもある。

次回以降は毎月1つのテーマを深く掘り下げた防災メモを掲載します。